

事業工程について

環境影響評価条件並びに所要の手続きを検討し作成した工程表を表 1 に示す。

表 1 再整備までのスケジュール（例）

		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8年次	9年次	10年次	11年次	12年次
1	施設基本構想	■											
2	ボーリング調査・地歴調査		■										
3	環境影響評価		■	■	■	■	■						
4	施設基本計画・PFI導入可能性調査		■	■									
5	造成基本設計			■									
6	造成実施設計						■						
7	事業者選定				■	■							
8	旧破碎工場解体												
	解体計画・設計			■	■	■							
	解体工事						■	■					
9	造成工事							■					
10	新あぶくまクリーンセンター建設工事												
	実施設計						■	■					
	現場工事							■	■	■			■
	試運転・検収									■			
11	既設焼却施設解体												
	解体計画・設計			■	■	■					■	■	
	解体工事											■	■

※各種行政手続、造成工事の有無、地中埋設物、住民説明などの状況により変動します。

第 2 回検討委員会提示した参考工程表との相違点は次のとおりです。

- ① 環境影響評価の対象事業として予定地内に所在する旧破碎工場の解体、敷地造成、既設焼却施設解体が含まれたため環境影響評価手続きが終わらないとこれらの事業に着手できなくなったこと。
- ② 既設焼却施設の跡地に不燃ごみ等の受入ヤードの整備を計画することにより、解体工事に交付金を活用することとしたこと。
- ③ 環境影響評価の予測評価条件を求めるため、造成設計を前倒しした他、旧破碎工場の解体、既設焼却施設解体の基礎検討を設定した。

以上